

4-①. 大阪NPOプラザ運営事業

－ 2013年3月末で、大阪NPOプラザ（大阪市福島区）での総合的なNPO支援活動に終止符。

2002年4月に大阪NPOプラザ（ONP）の管理運営を始めて11年。2013年度は、ONPの最終年度となった。年度当初は、早々に退出する団体が目立つと予想されたが、2012年11月末までは、退出する団体は2団体と多くなかった。12月以降は、移転先が見つかった団体から順次ONPを退出していき、毎月ONPを卒業する団体を見送った。一方で、協会の新拠点構想についてONP入居利用団体にも意見を聴きながら固めていった。11月時点でONPに在所していた27団体のうち、3団体は協会の移転先と同じビルへ、また3団体は近所のビルへ移転先を決め、11団体は新拠点を足場にして活動するなど、ONPで築いた関係性を新たな形で発展させることができた。

1. 大阪NPOプラザを構成する入居、ブース利用団体

2012年度は、2団体が1階NPO多機能ブースの新規利用を開始した。また1階を利用している1団体が、事業の拡大により、2階NPO支援フロアにも入居した。1階・2階あわせて14団体が、2013年3月の閉所まで、入居・利用を継続した。

【NPO支援フロア入居団体】全7団体

100号室	(社福)大阪ボランティア協会
201号室	(特活)大阪NPOセンター
203号室	空き事務所[～2012年9月] (特活)発達障害をもつ大人の会[2012年10月～]
204号室	(特活)福祉活動と福祉教育の推進協会あすなろ
205号室	(特活)日本病院ボランティア協会
206号室	(特活)シニア自然大学校
207号室	(特活)関西こども文化協会 [～2013年1月]

【NPO多機能ブーススペース利用団体】M：24団体、L：3団体（入替あり）

101号室	NPO支援ブース	(特活)キャンピズ
102号室		空きブース
103号室	ソフト活用ブース	(特活)環境技術支援協会[～2012年6月]
104号室	ソフト活用ブース	(特活)福祉サービス評価WACCH[～2012年12月]
105号室	ソフト活用ブース	ベアレット病友の会大阪府支部[～2012年12月]
106号室	ソフト活用ブース	(特活)遺族支え愛ネット[～2012年12月]
107号室	ハード活用ブース	大阪がん医療の向上をめざす会[～2012年5月]
108号室	ソフト活用ブース	(特活)発達障害をもつ大人の会
109号室	ソフト活用ブース	関西音声サポート
110号室	ソフト活用ブース	(特活)地域情報化推進機構[～2013年2月]
111号室	ハード活用ブース	(特活)不動産消費者保護支援機構
112号室	NPO支援ブース	(特活)NPO政策研究所[～2013年1月]
113号室	ソフト活用ブース	創作サポートセンター
114号室	ソフト活用ブース	(特活)地球コード研究会
115号室	NPOトライアルブース	(特活)介護・環境ネットワーク機構
116号室	ソフト活用ブース	(特活)スマートらいふネット
117号室	ソフト活用ブース	アップデートジャパン[～2013年2月]
118号室	ソフト活用ブース	患者の権利オンブズマン関西[～2013年2月]
119号室	ソフト活用ブース	(特活)みどり大阪[～2012年11月]
	NPOトライアルブース	空きブース[2012年12月] (特活)関西BS交流会[2012年1月～]

120号室	ハード活用ブース	(特活)大阪市計量協会[~2013年2月]
121号室	ソフト活用ブース NPOトライアルブース	空きブース[~2012年7月] (特活)日本心理セラピスト連盟・心の花 [2012年8月~2013年1月]
122号室	ソフト活用ブース	(特活)地球環境大学
123号室		空きブース
124号室	ハード活用ブース	(特活)消費者相談センター[~2012年12月]
131号室		空きブース
132号室		空きブース
133号室	ソフト活用ブース	園芸療法研究会西日本[~2013年2月]

2. 大阪NPOプラザで実施された様々な動き

NPO支援の拠点として2012年度に実施した取り組みは次の通りである。

(1) ONPの自治的運営に関わる取り組み（ONP運営協議会）

ONPの運営を入居・利用団体とともに考える場として「ONP運営協議会」を開催した。

2013年3月末のONP閉所を前提に、大阪府や大阪市等の動向を踏まえ、閉所までのスケジュール、管理団体である大阪ボランティア協会の新拠点移転計画、各団体の今後の移転計画に関する意見交換を中心に行った。

○第28回 開催日：2012年4月6日（金） 参加者：14人（11団体）

○第29回 開催日：2012年7月30日（水） 参加者：17人（16団体）

○第30回 開催日：2012年11月7日（水） 参加者：27人（19団体）

※ 「ONP暑気払い」を、7月30日（月）に開催。団体間の交流の場とした。

※ 消防・避難訓練および救急広報を、入居利用団体の協力を得て、9月12日（水）に実施した。

※ 「さよならONP企画！大掃除・懇親会」を、12月26日（水）に開催。ONP最後の交流の場とした。

(2) ONP評価研究委員会

NPO支援機能をもった団体の選定・評価機関として設置。2012年9月に、NPO支援フロア203号室の応募があり、書面による評価会を開催した。

○委員：(特活)しがNPOセンター 阿部圭宏、(特活)市民活動フォーラムみのお 須貝昭子、(福)大阪ボランティア協会 永井美佳

(3) ONPインキュベーション研究会

NPO多機能ブースのソフト活用ブース団体の審査・評価機関として設置。

○アドバイザー：(特活)しがNPOセンター 阿部圭宏、(社福)大阪ボランティア協会 永井美佳

【ONPサポートプログラム】

NPO多機能ブースのソフト活用ブース団体に、NPO支援機能をもつ団体から選出されたサポーターを担当として配置し、事業や運営面で必要なアドバイスなどを行うことで、団体運営を側面から応援するプログラムとして実施している。ソフト活用ブース14団体のうち、12団体に対してサポーター7人がサポートを行った。

号数	団体名	サポーター名
102号	(特活)環境技術支援協会	水流 寛二(特活)キャンピズ
104号	(特活)福祉サービス評価WACCH	白井 恭子(社福)大阪ボランティア協会
105号	ベアレット病友の会大阪府支部	白井 恭子(社福)大阪ボランティア協会
106号	(特活)遺族支え愛ネット	白井 恭子(社福)大阪ボランティア協会
108号	(特活)発達障害をもつ大人の会	堀野 亘求(特活)大阪NPOセンター

109号	関西音声サポート	梅田 純平（社福）大阪ボランティア協会
110号	（特活）地域情報化推進機構	岡村 こず恵（社福）大阪ボランティア協会
113号	創作サポートセンター	影浦 弘司（社福）大阪ボランティア協会
114号	（特活）地球コード研究会	岡村 こず恵（社福）大阪ボランティア協会
116号	（特活）スマートらいふネット	柳瀬 真佐子（特活）関西こども文化協会
118号	患者の権利オンブズマン関西	梅田 純平（社福）大阪ボランティア協会
119号	（特活）みどり大阪	金治 宏（社福）大阪ボランティア協会
122号	（特活）地球環境大学	金治 宏（社福）大阪ボランティア協会
133号	園芸療法研究会西日本	影浦 弘司（社福）大阪ボランティア協会

※103号環境技術協会（キャンピズ）、116号スマートらいふ（関文協）はサポート未実施。

3. 大阪NPOプラザの全体的利用状況

（1）NPO多機能ブーススペース

NPO多機能ブーススペースでは、独立した事務所機能が必要なNPOに貸ブースを提供。最終年度となる2012年度は、のべ24団体が、のべ1,454日間（昨年度のべ1,840日）、ブースを利用した。

ブース各月利用団体数状況（のべ利用日数は1,454日）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用団体数	22	22	21	20	21	21	21	21	20	17	15	10
内、退出数	0	1	1	0	0	0	0	1	4	2	5	0
内、新規利用数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
空き数	5	5	6	7	6	6	6	6	7	10	12	17

（2）NPO支援フロア

NPO支援や連携促進を進めるNPO支援機能を持った団体が入居。各団体での事業を進めるとともに、ONP運営に関しては、ONPサポートプログラムなどについて協力して取り組んだ。2012年度は、のべ7団体が、のべ1,693日間（昨年度のべ1,934日）、事務所を利用した。

（3）情報交流スペース、NPOワークステーションなどの利用状況

市民が気軽に立寄り、情報を得られることもONPの重要な機能の一つである。ONPにはNPOに関するイベント情報やニュースレターを入手にできる「情報交流スペース」、2003年度に開設した「ボランティア・市民活動ライブラリー」がある。ONPに届いた広報依頼件数などの詳細は第1章の「広報依頼」でも報告している。加えて、NPOワークステーションでは、印刷機（2台）や紙折機（2台）、利用登録団体向けに貸ロッカーと貸レターケースの提供も行った。

また2012年12月末に大阪ボランティア協会北区事務所を閉所したことを受け、2012年12月～2013年3月末にかけて、北区事務所利用団体を対象にロッカー・外部倉庫・レターケースの提供を行った。

- ・印刷機・紙折機利用回数 690件（昨年度879件）
- ・貸ロッカー・外部倉庫 66件（昨年度51件）
- ・貸レターケース 18件（昨年度8件）

（4）パレットカフェの実施

交流事業の一環として情報交流スペースの活性化、およびONP利用者の交流を目的に「パレットカフェ」を開催してきた。2012年度は、ボランティアスタイルの「第3回『広げよう！ボラスターの輪！』」や新拠点準備のための「全員まるごとワークショップ」とのコラボレーションで出張カフェを実施した。また、（福）水仙福祉会が運営する「風の子育ち園」を通じて、「風のとも西淀川」のクッキーを仕入れて、販売支援を行った。

なお、パレットカフェ事業は、ONPの閉所とともに事業を終了し、その経験値は新拠点づくりに活かす。

（5）視察

2012年度のONPへの視察件数は1件、訪問者数15人であった。

（6）ONP利用登録団体

2012年度の新規登録団体は15団体であった。

（7）貸会議室（図4-1）

貸会議室貸出はNPO支援メニューの一つであるとともに、大阪NPOプラザの自主財源の一つでもあった。2012年度は、2月までは例年以上の利用率（平均45.2%）であったが、閉所に際し3月度の外部利用を制限した影響もあり、年間平均としての利用率は、37.7%（昨年度43.7%）であった。

また、液晶プロジェクターやスクリーン、マイクセットなどの貸会議室付帯備品の貸出件数は、998件であった。

団体種別利用数（図4-2）

2012年度も支援フロアやブース利用団体の利用が多く、両者で全利用件数の75%を占めた。

なお、大阪ボランティア協会の利用件数には、北区事務所の閉鎖に伴い受け入れた、北区会場利用登録団体の会議室利用101件も含まれる。

また上半期には、通常の貸会議室とは別に、空室であるNPO支援フロア203号室を、ONP入居・利用団体専用の貸会議室として提供した。会議室203の利用件数は65件、利用率は23.9%、のべ利用人数は2,442人であった。

（8）来館者数

会議室の利用者（73,948人）、入居利用団体のメンバーとしての来館者（3,147人）、ワークステーションの利用者（774人）、視察（15人）などの数をあわせると上半期来館者数は77,884（昨年度年間80,286）人となった。

4. 大阪NPOプラザの閉所に伴う取り組み

（1）入居利用団体の移転先にかかる情報交換と卒業支援

ONP運営協議会の機会のみならず、窓口での日常的なやりとりの機会を捉えて、入居利用団体の移転先検討状況を情報交換したり、複数団体で事務所を借りようとする団体のコーディネートをしたり、協会の新拠点で受け入れたりと、全ONP入居利用団体が期日までにONPを卒業できるよう側面的サポートを行った。

（2）ONP閉所に伴う余剰什器備品の譲渡会の実施

ONPに協会が持ち込んだ事務机・イス、長机、イス、ロッカー等使える什器備品や消耗品約840件のうち、約4分の1の206個（25%）を協会の新拠点で活用し、残りを有効に活用してくださる入居利用団体やパートナー登録団体等に譲渡することにした。ONP閉所間際まで、複数回に渡って譲渡会を行い、余剰什器備品・消耗品のうち369件（44%）を提供することができた。残念ながら、残りの265件（32%）は廃棄物として処分した。

図4-1 貸会議室の月別利用率

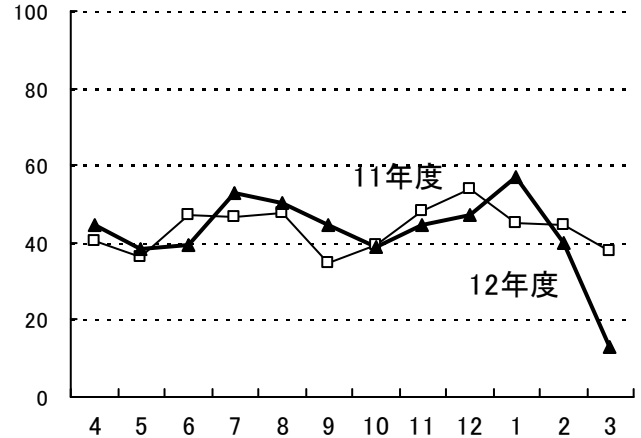


図4-2 団体種別の会議室利用数

